



博物館だより リイシリ

令和4年
348号

発行：利尻町立博物館

住所 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136
電話 0163-85-1411
FAX 0163-85-1282
e-mail riishirwmuseum@town.riishiri.hokkaido.jp



日時

8月29日(月)
午後7時～8時30分ごろ

場所

交流促進施設「どんと」

講師

秋本 敏さん(ふじみ野市立図書館元館長、日本図書館協会)

内容

- ① イントロ…博物館なのになぜ図書館か？(当館学芸員)
- ② 講演「これからの博物館を豊かにするには、レファレンスの『ひみつ』が鍵!？」
- ③ パネルディスカッション…レファレンスサービスの未来を考える
- ④ 講師になんでも質問コーナー

「これからの博物館研修会」
博物館と図書館で
どう調べる？



「これからの博物館」研修会
博物館と図書館で
どう調べる？

ネットだけではわからないこともあるよね・・・
なにか調べたいことがあったら、博物館や図書館に行ってみよう。
すると、レファレンスサービスがあなたを待っているはず。
レファレンスサービスで一步先に行く図書館の専門家を紹介します。
お話し(パネルディスカッション)から、「これからの博物館」を提案します。
図書館やレファレンスサービスに関心のある方もぜひご参加ください。

日 時：8月29日(月) 19:00～20:30(予定)
場 所：交流促進施設「どんと」
講 師：秋本 敏さん(ふじみ野市立図書館元館長、日本図書館協会)
内 容：1) イントロ「博物館なのになぜ図書館か？」(当館学芸員)
2) 講演「これからの博物館を豊かにするには、レファレンスの『ひみつ』が鍵!」(講師)
3) パネルディスカッション「レファレンスサービスの未来を考える」
4) 質疑応答コーナー
対 象：レファレンスに関心のある市民、博物館、図書館に勤務をされている方から限定し、
申込：無料(申込先着順)※申し込みは先着順、人数制限があります
その他：感染症拡大などの場合は、急遽中止、延期もありますので、ご了承ください。

利尻町立博物館
Tel. 0163-85-1411, Fax 0163-85-1282
riishirwmuseum@town.riishiri.hokkaido.jp

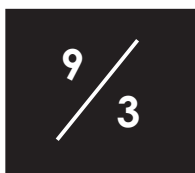
概要

みなさんはわからないことや
知りたいことがある時、どんな
方法で調べますか？インター
ネットでは調べるだけではわか
ない時は、博物館や図書館に足
を運んでみてください。博物
館や図書館は、関連する資料を
探すお手伝いをする「レファレン
スサービス」を行っています。
この研修会では、レファレン
スサービスで一步先に行く図書
館の専門家である秋本敏さん
をお招きし、お話しをお伺いす
るとともに、パネルディスカッ

申込み

ンを行い、「これからの博物館」
について考えます。博物館だけ
でなく、図書館やレファレンス
活動にご興味をお持ちの方も
ぜひご参加ください。

池の生き物観察会



日時

9月3日(土)
午前9時～10時30分

開催場所 森林公園 池の森
集合場所 森林公園 駐車場
内容

森林公園にはヒトの手でつく
られた小さな池があり、池の中
にはエゾアカガエルやヤゴ(ト
ンボの幼虫)をはじめとする昆
虫、ミジンコのなかまなど、様々
な生物たちが生息しています。

本州では水田やため池のような
ヒトによってつくられた環境と
自然の湖沼などの水域では生物
相が異なる例も知られており
(嶺田、2007)、森林公園の池も
利尻島内の湖沼とは異なる生物
が生息している可能性も考えら
れます。

この観察会では身近な池にす
む小さな生物たちを探し、観察
してみます。普段目にするこ
の無い、小さな池の生き物たち
に触れてみませんか。

持ち物

- ・長靴などの濡れてもよい履物
- ・ゴム手袋など
- ・タオル
- ・飲み物
- ・観察・採集道具…たも網やひしゃく、ルーペなど(若干数貸出できます)

申込

先着5名。
締切は9月1日(木)。

その他

雨天・悪天時は中止。

参考文献

嶺田卓也、2007、農業農村工学会誌、75(8):745-750。

利尻の海の不思議 19 おばあさんの背中？

普段は岩にぴったりとくっついて
いる動物(右)はババガセのなかま
です。岩からはがしたときに腹側(写
真は背中側)へくるっと曲がる様子
を、曲がったお年寄りの背中にた
とえてつけられたとのこと(荒俣、
2021)。多板綱(ヒザラガイのなかま)
で、背面には8枚の殻が並んでいま
す。コケムシやヒドロ虫類(コンブ
につくケのなかま)などの岩に固着
した動物を食べるほか、中には、体
の一部をトラップのように使い、動
物をとらえて食べる種も知られてい
ます(Clark, 1994)。私が利尻島内で
発見した個体は、形態からエゾババ
ガセではないか考えています。(富岡)



杓形岬で発見されたババガセのなかま。

参考文献

荒俣宏、2021. 普及版 世界大博物館図鑑別巻
2 水生無脊椎動物, 368pp.
Clark, RN. 1994. The Veliger, 37 (3): 290-
311.

9/10

利尻を感じて ウォーキング

日時

9月10日(土)

午前10時～11時30分

開催場所 杓形岬周辺

集合場所

杓形岬公園駐車場(杓形港側)

内容

日頃訪れないような場所を散策し、利尻らしい自然や歴史を感じていただく「利尻を感じてウォーキング」。昨年に引き続き二回目の今回は杓形岬周辺を散策します。3万7千年から9万年前に流れ出たと考えられている杓形溶岩流(植木・近藤、2008)をはじめ、利尻山の火山活動によって形成された地形がみられるほか、岩礁海岸には海岸特有の植物や動物を観察することもできます。また、この岬には鯨漁の時代につくられた漁業施設などが残されている場所もあり、身近ながら、散策にぴったりの場所です。

杓形岬をぐるりと一周散策し、のんびりと利尻を感じてみませんか。

持ち物

- ・当日の気象条件にあわせた服装
- ・岩場等も散策できるしつかりとした靴
- ・ケガ対策のための手袋(軍手)
- ・飲み物や行動食
- ・日よけや虫よけ等

申込

先着6名。

締切は9月8日(木)。

その他

雨天・悪天時は中止。

参考文献

植木岳雪・近藤玲介、2008. 第四紀研究, 47(6), 329-353.

事業への申込み方法

①参加希望の事業名、②参加者のお名前、③当日のご連絡先(携帯電話番号)、を博物館にメール、電話、ホームページ内のお問い合わせフォームからお伝えください。フォームおよびメールの場合は必ず返信いたします。返信がない場合は改めてお知らせ下さい。

事業参加時の注意点

当館では感染症対策として、人数制限、貸出機器の使用前後の消毒のほか、屋内では換気などの対策を行い、安心してご参加いただけるように努めてまいります。参加者の皆様におかれましても、マスク着用、手指消毒等の感染症対策にご協力お願いいたします。また、体調不良の場合には無理に参加せず、担当者にご連絡をお願いいたします。

傷病鳥保護

2022年7月(347号掲載分を除く)は1個体の野鳥の保護と回収を行いました。・ノビタキ、7月6日、新湊、佐藤里恵さん

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしています。町外の方は1部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能なほか、メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。

なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。



スマホで
アクセスできます!

